

野良猫探索システム

「ねこでる」サービスを開始

殺処分ゼロ目指し崇城大と動物病院

崇城大と竜之介動物病院（熊本市中央区）は17日、撮影した野良猫などの写真をインターネット上に投稿して、生息域を把握するウェブ上の新システム「ねこでる」の運用を始めたと発表した。野良猫の生息域などの実態把握を通して去勢不

妊手術を施し、野良猫の殺処分ゼロを目指す。「ねこでる」は崇城大情報学部和泉信生助教の研究室が開発。市民が地域で見かけた猫をスマートフォンなどで撮影し、位置情報や既に不妊治療がされているかなどを「ねこでる」に投稿する。10日から運用が始まり、システムを通じて野良

猫の捕獲（Trap）、不妊手術（Neuter）、元の生活場所に戻す（Return）というTNR活動を推進する。竜之介動物病院の徳田竜之介院長は約20年前から、殺処分ゼロのために野良猫の不妊手術に取り組む。狂犬病予防注射が義務付けられる登録制の犬と異なり、猫は実態把握が進



TNR活動の意義を訴える徳田院長（左）と和泉助教

んでおらず、熊本地震後は野良猫が増えたように感じるといふ。徳田院長は「ねこでる」でどの地域に猫が何頭いるかを把握できればTNR活動に大いに役立つ。システムを通じてより多くの人に地域に住んでいる猫に目を向けてもらいたい」と参加を呼びかけた。

「ねこでる」への投稿は登録などは不要で、無料できる。アドレスは（<https://neko.today/>）。

【野呂賢治】